



Pack
15

Ferrari

250 GTO



Ferrari 250 GTO

組み立てガイド

| | | |
|-----------------|----------------|-------|
| STAGE 57 | 右フロントサスペンション | P.225 |
| STAGE 58 | 右フロントサスペンション ② | P.229 |
| STAGE 59 | ステアリング機構 | P.233 |
| STAGE 60 | ステアリング機構 ② | P.237 |



右フロントサスペンション

右前部のサスペンションを組み立てよう。

57-1



57-2



ネジC×2



ネジJ×2



57-3



パーツリスト

57-1 スタブアックスル

57-2 アッパーアーム ×2

57-3 ショックアブソーバー

ネジ類

ネジC (M2.3×4mm) ×2本 (1本は予備)

ネジJ (M2.3×4mm) ×2本 (1本は予備)

ヒント ●ネジは穴に対して真っ直ぐに当てて締め込む。斜めに締めると、途中で締められなくなる場合がある。●金属製パーツのネジを締める際、途中で硬くなったならネジを緩め、削れて出たカスを取り除くと締めやすくなる。●ネジを締めにくい場合は、あらかじめ各パーツにネジを締めるかタップすることにより、ネジの溝を作っておくとよい。●ネジの先端に市販のミネオイルなどを少量付けると締めやすくなるので試してみよう。●プラスチック製パーツにネジを締める場合は、締め過ぎるとパーツが割れたり、ネジの溝が崩れて締まらなくなる場合がある。パーツ同士がある程度固定されたら、締めるのをやめる。●パーツが外れやすい場合は、酢酸ビニル系が合成ゴム系の接着剤を使うとよい。瞬間接着剤は、乾燥すると周囲が白くなる(白化する)ことがあるので注意しよう。

/01



57-2(アッパーアーム)の片方を57-1(スタブアクスル)に取り付け、写真のような向きにする。アーム両端の穴の大きさはそれぞれ異なるので要注意。ここでは穴の大きい方(丸く囲った写真)をネジで固定する。

/02



もうひとつの57-2(アッパーアーム)をスタブアクスルに取り付ける。写真で向きを確認する。



/03



57-3(ショックアブソーバー)を写真のように配置し、ネジCで固定する。



STAGE 57 の完成
今回組み立てた右フロントサスペン
ション。

右フロントサスペンション ②

右前部のサスペンションを完成させよう。



パーツリスト

58-1 コネクティングマウント

58-2 スプリング

58-3 キャップ

58-4 ロアアームA

58-5 ロアアームB

58-6 フォークブラケット

ネジ類

ネジB (P2.3×5 mm) ×5本 (1本は予備)

ネジC (M2.3×4 mm) ×2本 (1本は予備)

ネジJ (M2.3×4 mm) ×3本 (1本は予備)

ヒント ●ネジは穴に対して真っ直ぐに当てて締め込む。斜めに締めると、途中で締められなくなる場合がある。●金属製パーツのネジを締める際、途中で硬くなったならネジを緩め、削れて出たカスを取り除くと締めやすくなる。●ネジを締めにくい場合は、あらかじめ各パーツにネジを締めるかタップすることにより、ネジの溝を作っておくとよい。●ネジの先端に市販のミネラルオイルなどを少量付けると締めやすくなるので試してみよう。●プラスチック製パーツにネジを締める場合は、締め過ぎるとパーツが割れたり、ネジの溝が崩れて締まらなくなる場合がある。パーツ同士がある程度固定されたら、締めるのをやめる。●パーツが外れやすい場合は、酢酸ビニル系が合成ゴム系の接着剤を使うとよい。瞬間接着剤は、乾燥すると周囲が白くなる(白化する)ことがあるので注意しよう。

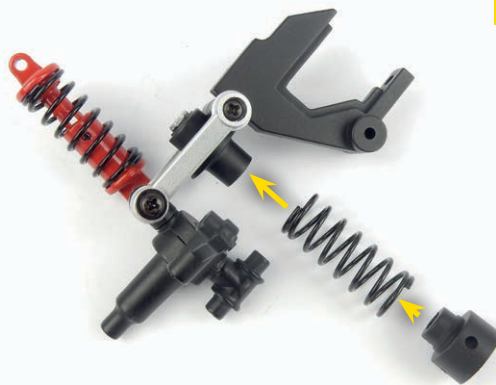
STAGE58



/01

STAGE57 で組み立てたサスペンションと58-1(コネクティングマウント)を用意する。写真と同じ向きにして、2本のネジBで固定する。

58-2(スプリング)の一端をマウントの中央スタッドに押し込み、58-3(キャップ)をスプリングのもう一方の端に押し込む。



/02

/03



58-5(ロアアームB: 中央の穴がない)を写真のようにはめ込む。アームの長い方の端をマウントに、短い方の端をスタブアクスルに合わせ、アーム中央のスタッドをキャップの穴に押し込む。写真の丸印の穴にネジBを締める。



/04



ネジJでアームをスタブアクスルに固定する。

次に、裏返して58-4(ロアアームA)を取り付ける。アームの長い方の端がマウントに、短い端がスタブアクスルに向かうようにし、アームの中央にあるスタッドをキャップ反対側の穴に挿し込む。写真のようにネジBで固定する。



/05

/06



写真のように、ネジJでアームをスタブアクスルに固定する。



/07

最後に、58-6(フォークブラケット)をアーム中央の穴に合わせ、ネジCで固定する。



STAGE 58 の完成

右フロントサスペンションの組み立てが終了した。他のパーツとともに大切に保管しておこう。

ステアリング機構

ステアリングに着手する。今回残ったネジとタイロッドは次回使うので大切に保管しておこう。

ネジB×7



59-1



59-2



59-3



ネジJ×9



59-4



59-5



59-6



59-7

パーツリスト

59-1 アイドラーアーム

59-2 ピットマンアーム

59-3 センターリンク

59-4 ステアリングボックスマウント

59-5 ステアリングボックス

59-6 ステアリングボックスインサート

59-7 タイロッド ×2

ネジ類

ネジB (P2.3×5 mm) ×7本 (1本は予備)

ネジJ (M2.3×4 mm) ×9本 (1本は予備)

ヒント ●ネジは穴に対して真っ直ぐに当てて締め込む。斜めに締めると、途中で締められなくなる場合がある。●金属製パーツのネジを締める際、途中で硬くなったらネジを緩め、削れて出たカスを取り除くと締めやすくなる。●ネジを締めにくい場合は、あらかじめ各パーツにネジを締めるかタップすることにより、ネジの溝を作っておくとよい。●ネジの先端に市販のミネラルオイルなどを少量付けると締めやすくなるので試してみよう。●プラスチック製パーツにネジを締める場合は、締め過ぎるとパーツが割れたり、ネジの溝が崩れて締まらなくなる場合がある。パーツ同士がある程度固定されたら、締めるのをやめる。●パーツが外れやすい場合は、酢酸ビニル系が合成ゴム系の接着剤を使うとよい。瞬間接着剤は、乾燥すると周囲が白くなる(白化する)ことがあるので注意しよう。

STAGE 59

/01



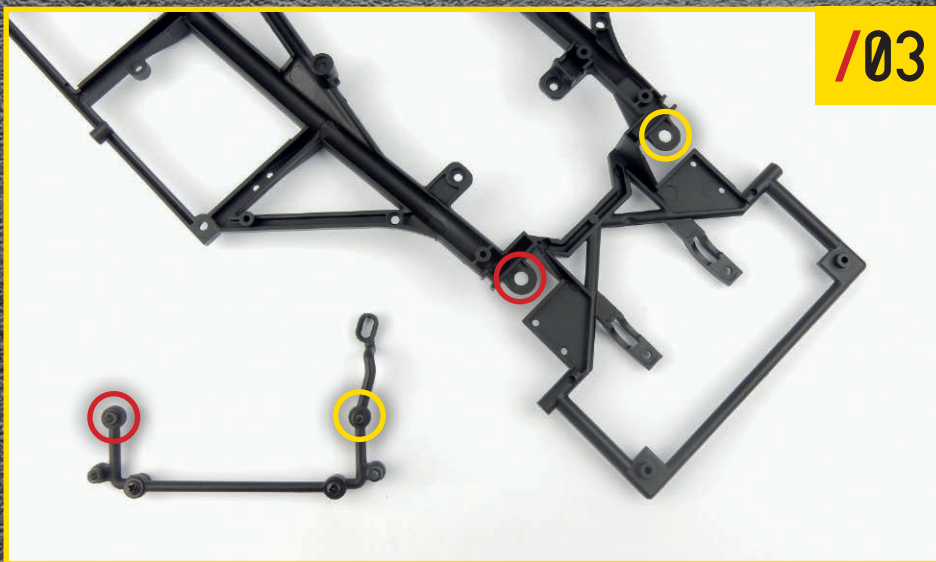
59-1(アイドラーアーム)と59-2(ピットマンアーム)、59-3(センターリンク)を用意し、写真のような向きに置く。両アームのスタッドをセンターリンクのそれぞれの穴に挿して合体する。

2本のネジJで固定する。

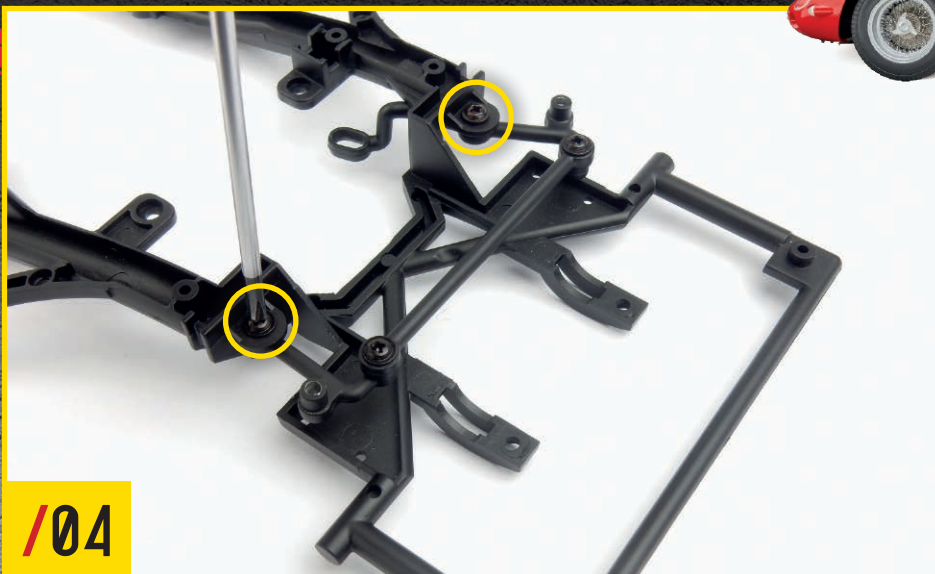
/02



/03



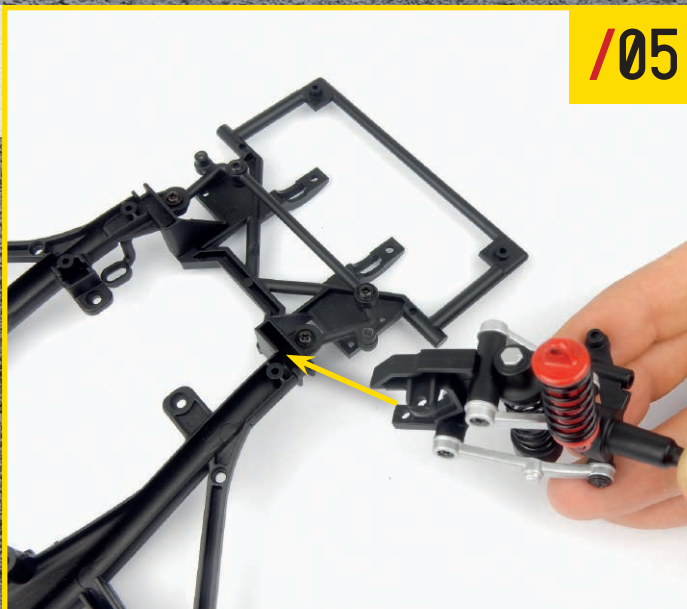
シャーシを用意し、写真と同じ向きに置く。/02で作ったステアリングをはめ込む。アームのスタッドをシャーシのどの穴にはめるのか、写真の丸印を確認する。



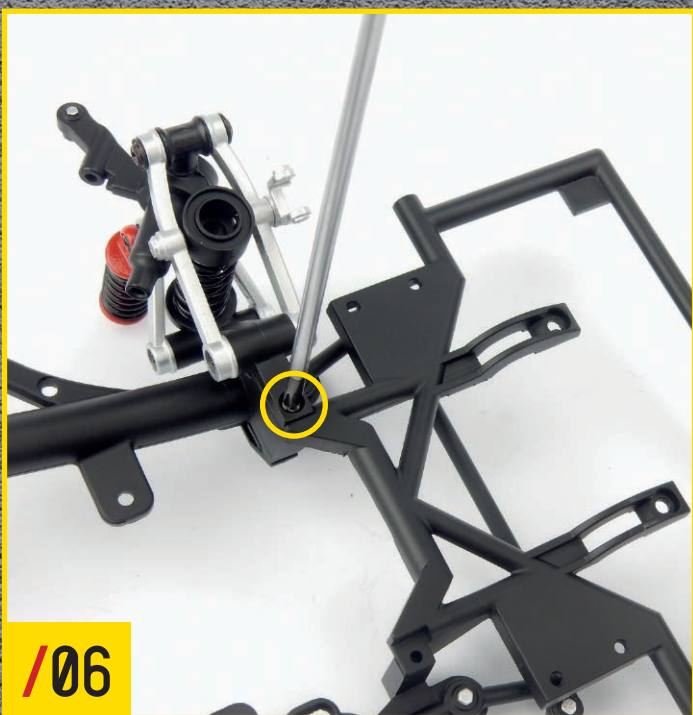
/04

2本のネジJで、アームをシャーシに固定する。

右フロントサスペンション (STAGE57 と STAGE58 で組み立て済み) を用意する。写真をよく見て、シャーシに装着する。下の写真で示した穴にネジBを締める。

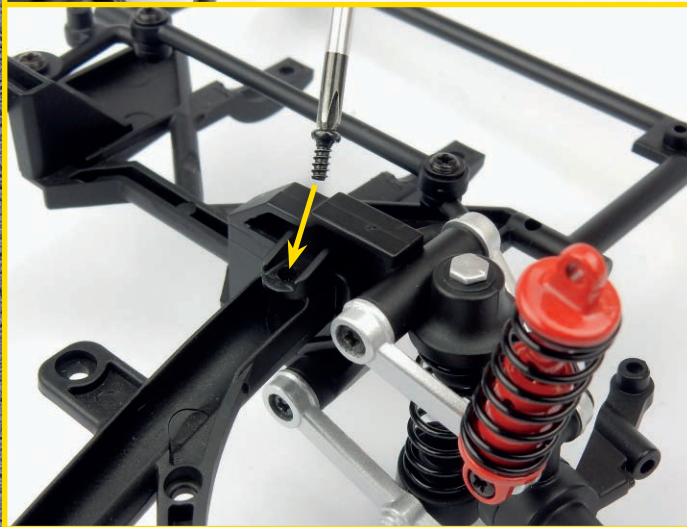


/05



/06

シャーシをひっくり返し、裏側からもネジBで固定する。サスペンションがシャーシにしっかり取り付けられたか確認する。



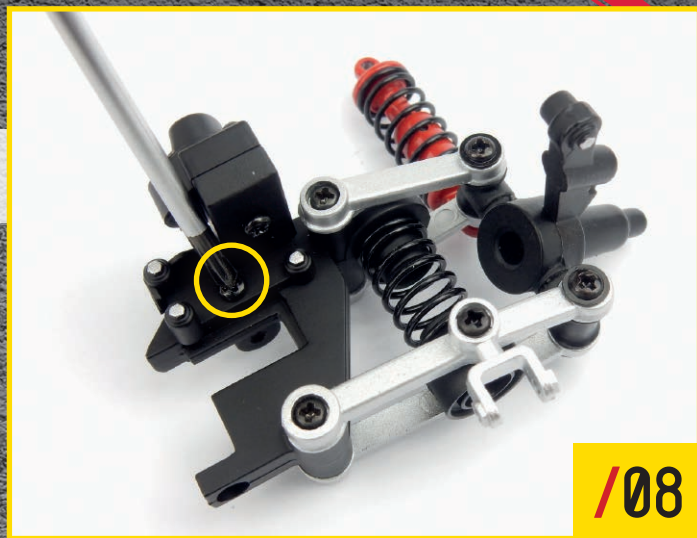


写真のように、59-5(ステアリングボックス)に59-4(ステアリングボックスマウント)を取り付け、ネジBで固定する。



/07

左フロントサスペンション(**STAGE55** と **STAGE56**)で組み立て済みを用意する。ステアリングボックスをネジBで固定する。



/08



/09

59-6(ステアリングボックスインサート)をステアリングボックスに取り付ける。



STAGE59 の完成

左フロントサスペンションの組み立てが終了した。残ったパーツは大切に保管しておこう。

ステアリング機構 ②

STAGE 57 と今回のパーツで、ステアリング機構をつくりあげていく。

ネジB×2



60-1



60-2

パーツリスト

60-1 ステアリングシャフト

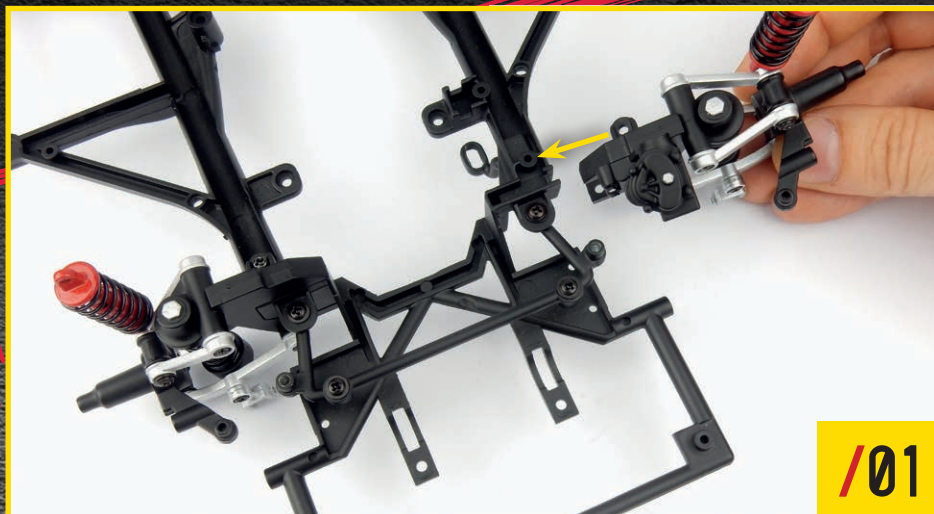
60-2 マウンティングプレート

ネジ類

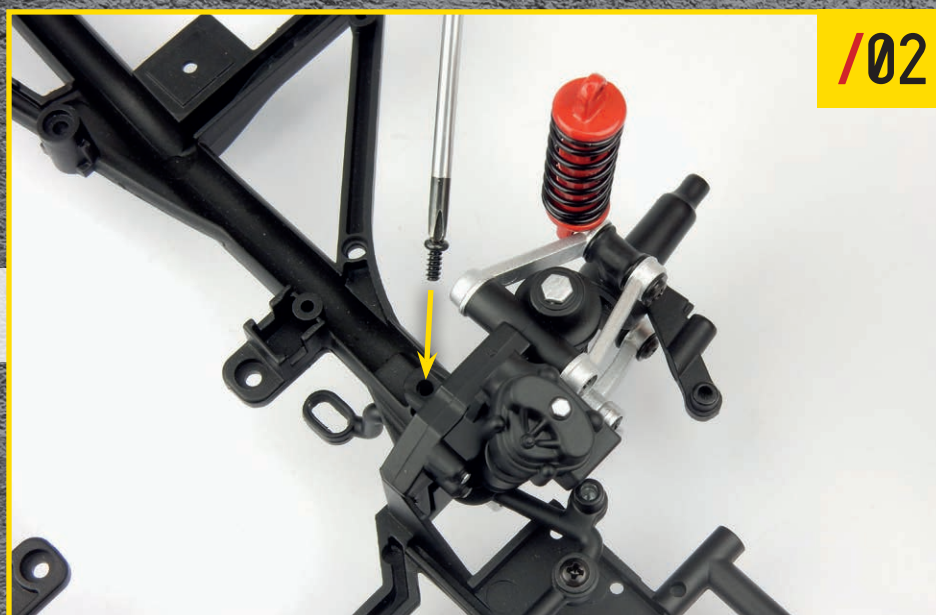
ネジB (P2.3×5mm) ×2本 (1本は予備)

ヒント ●ネジは穴に対して真っ直ぐに当てて締め込む。斜めに締めると、途中で締められなくなる場合がある。●金属製パーツのネジを締める際、途中で硬くなったらネジを緩め、削れて出たカスを取り除くと締めやすくなる。●ネジを締めにくい場合は、あらかじめ各パーツにネジを締めるかタップすることにより、ネジの溝を作っておくとよい。●ネジの先端に市販のミネラルオイルなどを少量付けると締めやすくなるので試してみよう。●プラスチック製パーツにネジを締める場合は、締め過ぎるとパーツが割れたり、ネジの溝が崩れて締まらなくなる場合がある。パーツ同士がある程度固定されたら、締めるのをやめる。●パーツが外れやすい場合は、酢酸ビニル系が合成ゴム系の接着剤を使うとよい。瞬間接着剤は、乾燥すると周囲が白くなる(白化する)ことがあるので注意しよう。

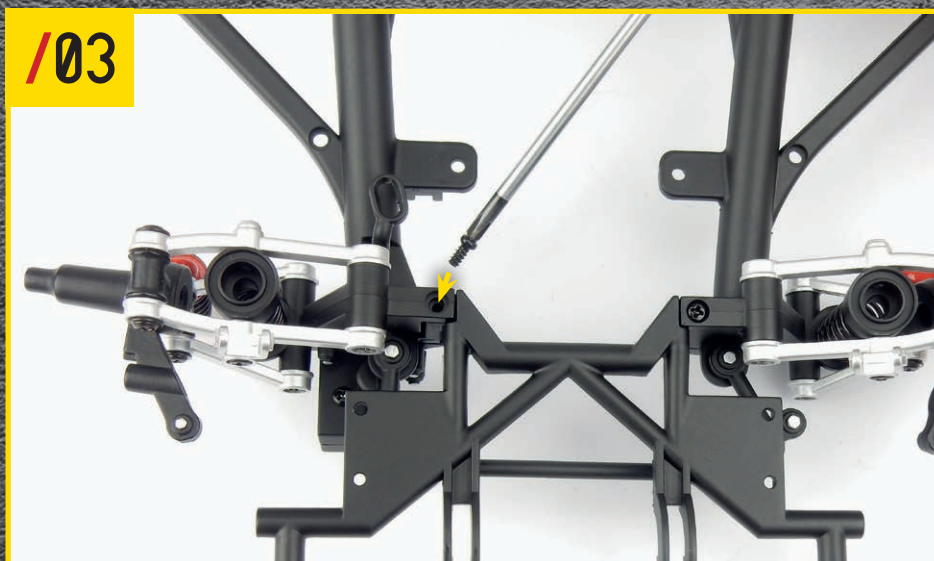
STAGE 60



写真の向きになるように、左フロントサスペンションをシャーシにはめ込む。



ネジB (STAGE 59 付属) を写真のように締める。



シャーシをひっくり返す。裏側からネジB (STAGE 59 付属) を写真に示された穴に締め、サスペンションがシャーシにしっかり取り付けられたか確認する。

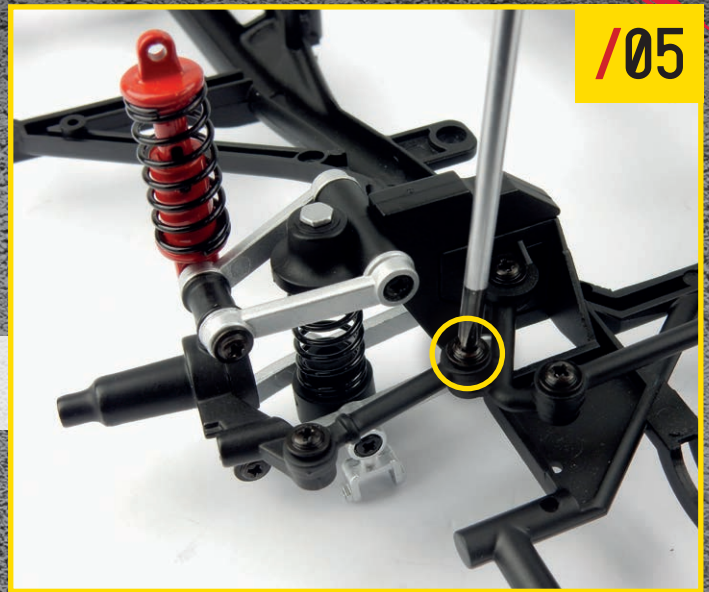


STAGE 59 で保管しておいた59-7(タイロッド)1本を使って、右フロントサスペンションのスタブアクスルをアームに接続する。タイロッドの向きを写真で確かめ、ネジJ (**STAGE 59** 付属)で固定する。



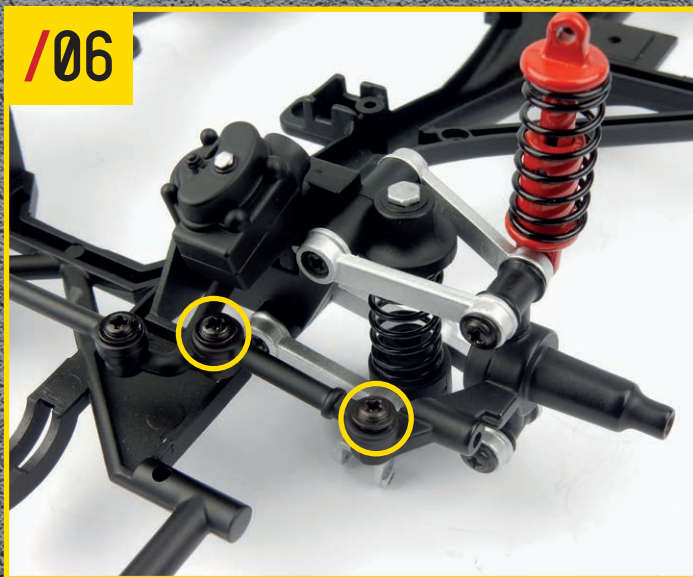
/04

ネジJ (**STAGE 59** 付属)でタイロッドをアイドラアームに取り付ける。



/05

左側も同様に、もう1本の59-7(タイロッド)でアームとスタブアクスルを接続し、2本のネジJ (**STAGE 59** 付属)で固定する。

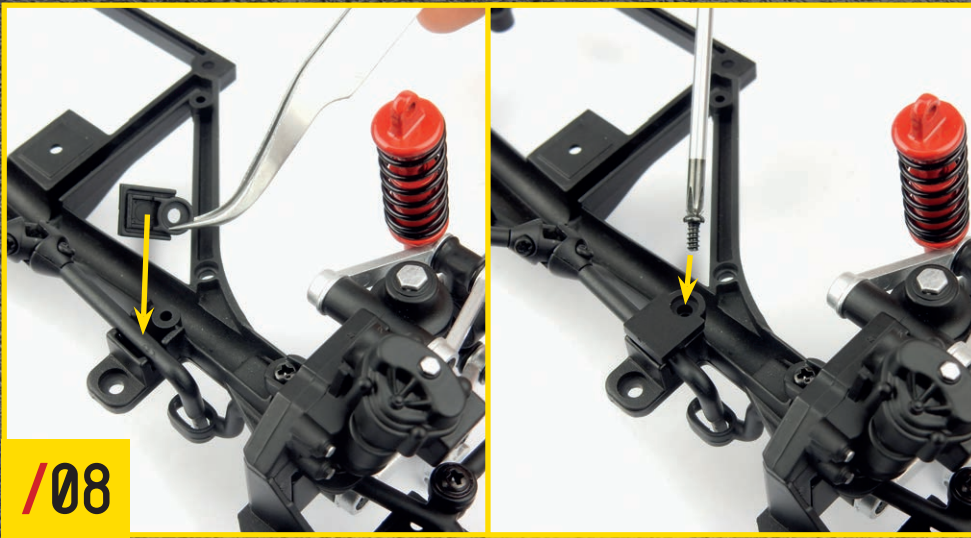


/06

60-1(ステアリングシャフト)をシャーシとピットマンアームに取り付ける。写真の向きに合わせる。

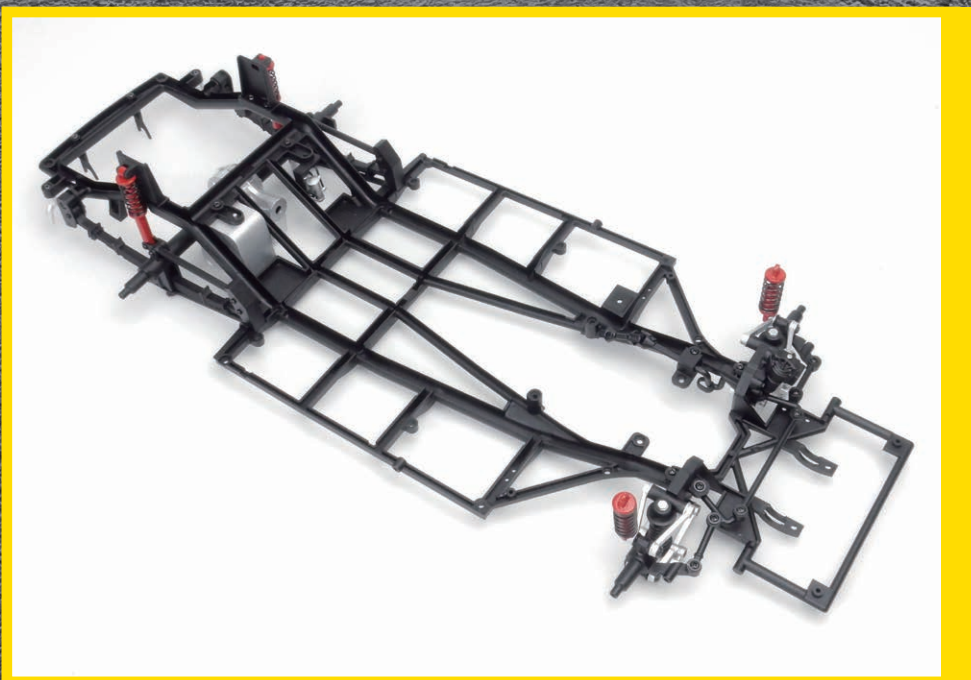


/07



/08

60-2(マウンティングプレート)をシャーシに取り付け、ネジBで固定する。



STAGE 60 の完成

ステアリングを取り付けたシャーシ。他のパーツとともに大切に保管しておこう。